

あとがき

名は体を表すというが、表意文字である漢字で書く病名を見ると、その特徴がうまく象徴的に示されている。肝硬変、心筋梗塞、胆石、痛風、白内障などなど……これらの病名を考案した先人には脱帽である。そのような見方で脳卒中を見るとどうなるだろうか。脳は部位を示す名称だからおくとして、ここではほかの2文字についてみよう。

まず“卒”であるが、この文字は一兵卒などと用いられるように、位の高くない兵士や召使い、しもべに当てられる。そのほかには急なあわただしい出来事の際の“急に、にわかに”という意味がある。脳卒中は、急に、にわかに発症するから、この病気のイメージを適確に示している。さらに卒には“終了”あるいは“ついに”という意味もある。卒業という語を見ればそれがわかるが、一語でも「～卒」といえば、その学校などの課程を終えたことを表す。他方、脳卒中は日本人の死因の上位にランクされており、死とは背中合わせの病気でもある。したがって、脳卒中の卒という文字に込められたもう1つの側面の“ついに”であるが、これは終了とも重なりあう。すなわち死に通じるニュアンスをうかがうことができる。

最後の文字は“中”である。中は真ん中という意味のほかに、“当たる”という意味ももっている。この当たるには、良い場合と悪い場合とがある。前者の例としては、的中に代表されるように、宝くじなどがズバリ当たるときに用いられる。一方、悪い用例としては毒に当たる場合の中毒がその典型である。体にとってマイナスの場合に用いられる。熱中症の中も同じ意味である。脳卒中の中も同類であることは間違いない。

このように脳卒中をあらためて分解して見直すと、この病気は脳に突然生じる、しかもしばしば死と隣合わせの病態に当たったものということになろう。

昨今の医療の進歩により、たとえ“脳”が“卒”に“中”の状態に陥っても、それを“卒”にさせない種々の試みが実用化されている。その成果もあって、かつては日本人の死因のトップを占めていた脳卒中は、現在では3位にまでランクを下げた。ところで、医療技術の進歩の恩恵を最大限に受けるためには、患者の側にはそれなりの日頃の摂生が求められている。メタボリックシンドローム状態にあるかないかによっても、その福音の表れ方に差があらうことは容易に想像できる。こんなふうに書くと、必ずしも模範的とは言えない日々を送っている筆者自身に対し、日頃の生活を悔い改めよという天からの啓示がふつてきそうな気配もする。そのお怒りに当たらないうちに、このあたりで筆をおこう。(坂本穆彦)

バックナンバー

「今月の主題」一覧

第52巻(2008年)

- 12 平衡機能検査
- 13 凝固制御

第53巻(2009年)

- 1号 ウイルス感染症—最新の動向
- 2 生体内微量元素
- 3 臨床検査コンサルテーション/診療支援
- 4 妊娠と臨床検査
- 5 免疫不全症候群と遺伝子異常
- 6 食中毒
- 7 唾液の臨床検査
- 8 漢方薬・生薬と臨床検査
- 9 脳磁図で何がわかるか?
- 10 血栓症と臨床検査
- 11 (増刊号)医療・福祉施設における感染制御と臨床検査
- 12 オートファジー
- 13 前立腺癌

第54巻(2010年)

- 1号 POCT, 医療におけるその役割
- 2 *Helicobacter pylori* の診断と臨床応用
- 3 骨髄増殖性疾患
- 4 広義のアポリポ蛋白
- 5 薬剤耐性菌制御の最前線
- 6 注目されるサイトカイン
- 7 排尿障害
- 8 未病を考える
- 9 糖尿病の病態解析
- 10 ファーマコゲノミクス
- 11 (増刊号)新時代のワクチン戦略について考える

〔バックナンバーのお取り扱い〕

第52巻第12号以降は医学書院販売部がお取り扱いします。それ以前のは(株)東亜ブック(東京都豊島区池袋4-13-4, 電話03-3985-4701, FAX03-3985-4703 <http://www.toabook.com/>, E-MAIL: st@toabook.com)がお取り扱いします。

臨床検査 (第54巻第12号)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659・5660
振替口座 00170-9-96693

2010年11月15日発行(毎月1回15日発行)

定価1,890円(本体1,800円+税5%)

2010年年ぎめ予約購読料 27,180円(送料弊社負担・増刊号を含む13冊)

電子ジャーナル閲覧オプション付 35,400円(税込)

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5712

ファクシミリ (03) 3815-7802/3815-7982

E-mail: rinshokensa@igaku-shoin.co.jp

担当 塩田・後藤・能藤

印刷所 (株)アイワード ☎ (011) 241-9341

広告申込所 (株)東 広 社 ☎ (03) 3409-8803

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2010, Printed in Japan.
• 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

• JCOPY (株)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

• 医学書院ホームページ(インターネット)は<http://www.igaku-shoin.co.jp>です。

「臨床検査」URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinshokensa/>